

掲載日：26年9月30日（火）

安全運転の徹底を要請

渡辺組が街頭啓発活動

交通安全グッズの配布も



【網走発】(株)渡辺組(湧別、渡辺博行社長)は二十

六日、本社前を走る国道二四二号沿いで交通安全街頭啓発を実施した。道行くドライバーに地元産のタマネギやジャガイモなどを配りながら、安全運転の徹底を呼びかけた。

同社では、夏と秋の全国交通安全運動に合わせて、平成十九年から街頭啓発に取り組んでいる。こととして八年目、十六回目を迎えた活動には、役員や作業員ら四十人余りが参加した。

活動に先立って、渡辺社長があいさつ。「未だに交通事故を労働災害より甘く見ている者もいる。第三者に被害を及ぼすという意味でも問題はより深刻。地域の見本となる安全運転を心がけて」と呼びかけた。

また、応援に駆けつけた遠軽警察署の佐々光則署長は「渡辺組からは絶対に事故を起こさないうちの覚悟の表れ。一瞬で幸せな生活を失う交通事故を根絶やしに」と激励した。

地元産のタマネギやジャガイモの詰め合わせと、自社で作成したクリアファイルやリーフレットなどを交通安全グッズとして百セット用意した。渡辺社長や佐々署長らが「事故が増え

ています。安全運転をお願いします」などと声をかけながら、ドライバーに交通事故の根絶を訴えた。写真。

このほか、参加者全員が国道沿いに整列。「スピードダウンの励行」「シートベルト着用の徹底」を訴える横断幕や「早めのライト点灯」「飲酒運転は許さない」などと書かれたのぼり旗を手に、安全運転の徹底を啓発した。

掲載日：26年9月30日（火）

交通安全グッズ 配り事故防止啓発

渡辺組

【北見】渡辺組（本社・湧別）は26日夕方、同社前の国道242号で交通安全の街頭啓発を実施し、渡辺博行社長らが通行するドライバーらに交通安全グッズなどを手渡しして安全運転を呼び掛けた。写真。



2007年から毎年、

春と秋の全国交通安全運動に呼応して実施。約50人の参加者に渡辺社長は「300台の車両を動かす企業として、率先して事故防止に取り組みなければ。心を込めて活動しよう」と要請した。

参加者らは交通安全と書かれたたすきを掛け旗を持って本社前に並び、遠軽警察署の協力の下、通行車両を誘導。自社で製作したパンフレットや地元産のジャガイモとタマネギが入った啓発グッズ100袋を配布した。